

中部圏都市整備区域建設計画の概要

対象区域：愛知県の名古屋市、岡崎市(一部)、一宮市、豊田市(一部)等52市町村
三重県の四日市市、桑名市等7市町 計59市町村
計画期間：平成18年度から概ね5年間

1 基本的な方向

モノづくりを中心に中部圏のみならず我が国の経済活動を牽引する成長センターと位置づけ、中部国際空港及び愛・地球博の効果を活かしながら、世界に開かれた個性豊かな自立した圏域の形成を図る。

2 重点施策の方向

(1) 様々な分野での国際的な交流拠点づくり

名古屋都心部における国際的な業務や高次の商業機能等の集積強化に向け、産業労働センター(仮称)及びささしまライブ24地区整備を推進する。

中部臨空都市や四日市地区等で、燃料電池や水素をはじめとする様々な新エネルギーの実証フィールドの集積、研究開発機能の導入をめざす。

民間経済団体等との連携による国際会議や見本市、大規模イベントなどのコンベンション・メッセの誘致・開催を検討する。

(2) 環境先進圏域の形成

ごみの減量化、廃棄物の適正処理の推進などにより、3Rを基調とし環境負荷が低減された持続可能な循環型社会(ごみゼロ社会)の実現をめざす。

燃料電池等新エネルギーの開発・普及、パーク・アンド・ライドの実施をはじめとする交通需要マネジメント施策など自動車環境対策を推進する。

伊勢湾の再生に向け、水質の浄化対策、水循環の再生及び多様な生態系の回復などに向けた取組を推進する。

愛知万博記念の森は、環境学習など様々な活動の場として保全・活用し、森林や里山に関する学習と交流の拠点づくりを推進する。また、愛・地球博記念公園は、愛知青少年公園の歴史及び博覧会の感動が息づく21世紀にふさわしい県営都市公園として整備する。

(3) モノづくり産業の国際競争力の強化

本社機能や研究開発機能の集積、モノづくり人材及び新産業の育成を図ると

ともに、中部国際空港、指定特定重要港湾の名古屋港及び四日市港などグローバルな産業活動を支える国際交通基盤の重点的な整備を推進する。

国際交通基盤の中部圏全体での活用に資する、第二東名・名神高速道路、名古屋環状2号線、東海環状自動車道等広域交通ネットワークを整備する。

(4) 安心・安全を実感できる地域社会の形成

住宅や公共施設の耐震化の推進、海岸堤防等の整備及び地域防災力の強化等地震防災対策を計画的・効率的に推進する。

人にやさしい街づくりや、全ての外国人が住民として安心して暮らせる社会(多文化共生社会)の実現に向けた取組を推進する。

3 主要事業

道路：第二東名高速道路、第二名神高速道路、東海環状自動車道、名古屋環状2号線、名古屋高速道路、名豊道路、衣浦豊田道路、名古屋瀬戸道路、四日市インターアクセス道路

一宮西港道路、名岐道路、西知多道路、名浜道路等の調査

鉄軌道：名古屋市高速度鉄道第6号線[野並～徳重]、愛知環状鉄道線[岡崎～高蔵寺の一部]・東海旅客鉄道関西本線[名古屋～南四日市の一部]の複線化

リニア中央新幹線の調査

港湾：指定特定重要港湾名古屋港・四日市港、重要港湾衣浦港

空港：中部国際空港

宅地：大曾根北、志段味、大高南、有松、岡崎駅東、浄水、安城桜井、小牧南、尾張西部都市拠点、米野木駅前、大田川駅周辺、長湫南部、播磨、桑名駅西等の大規模な土地区画整理事業

弥富等の工業用地造成

公園：愛・地球博記念公園、油ヶ淵水辺公園、東山公園(東山動植物園の再生)

河川：木曾川水系連絡導水路

供給処理施設：広域最終処分場(衣浦港3号地)

教育・文化施設：名古屋城本丸御殿の復元

試験研究施設：科学技術交流センター(仮称)

その他：産業労働センター(仮称)、クオリティライフ21城北

など